

# 宮崎県農業経営相談所

法人化

経営継承・相続

| 事業所名  | 従業員規模     | 所在地    | 支援テーマ         | 支援回数       |
|-------|-----------|--------|---------------|------------|
| 個人 S氏 | 5名(家族労働力) | 宮崎県西都市 | 農業経営の法人化、経営承継 | 専門家派遣回数 5回 |

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

相談者は水稻17ha、飼料用稲4ha、の栽培と約30haの作業受託で経営をしており、所得も十分確保している。

当初、長男のみを後継者として考えていたが、次男も後継者として帰ってきたことから、法人化するか、2人の後継者を別経営にするか、個人経営のまま長男を代表とし、次男を専従者とするか、どのような形で経営承継することがベストかについて相談があった。

### ■現状課題等

- ・家族間の役割分担が不明確。
- ・作業計画、栽培計画、今後の経営の方向性などについて計画性がない。
- ・経営管理に必要なお金の動きを後継者が把握できていない。
- ・受託と米の生産販売の申告を別々にしており、会計処理が煩雑となっている。



田植え作業の様子

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

税理士、社会保険労務士、農業経営指導士、普及指導員、市職員により構成する支援チームを編成し、以下支援を実施。

1. 経営理念や経営計画の整理
2. 経営の見える化
3. 経営承継、法人化についての検討

### 【助言内容】

#### ＜税理士＞

- ・法人化における税制上のメリット・デメリットを説明。

#### ＜社会保険労務士＞

- ・法人化手続の概要説明。
- ・家族経営からの法人化は合同会社が適当。
- ・農地所有適格法人設立に関しては、事前に農業委員会に十分な相談・協議をすること。

#### ＜農業経営指導士＞

- ・経営理念を家族間で共有することが重要であることから、経営理念の作成を行うこと。
- ・経営の見える化を進めるため、以下を行うこと。
  - ①キャッシュフロー計算を利用した資金管理
  - ②GH評価制度(農場評価)の導入検討
- ・経営承継の時期に法人化を合わせること。

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

経営理念と行動指針を家族間で共有することで、経営継承に向けた道筋が明確となった。

| 経営理念   | 行動指針  |
|--|---|
| ・喜ばれる仕事をする。<br>・信頼される仕事をする。<br>・仲良く幸せな家庭を継続する。<br>・感謝の気持ちを持つ | そのために<br>・共に汗をかく(経営安定、地域貢献)<br>・共に遊ぶ(記念日、行事を大切に)<br>・共に学ぶ(研修、視察の積極的な参加)<br>・全員が集まり話し合う時間を持つ |

経営継承に向け、後継者兄弟2人で法人化に向けた取組を行っていくことが確認された結果、経営改善にも着手。クラウド型農業支援サービス(栽培管理・販売管理)を導入し、経営の効率化にも取り組むこととなった。

### ■コーディネーター所感

経営承継について、兄弟での経営は難しい面があることから、経営の見える化が重要である。後継者の兄弟が新しい経営管理方式の導入に意欲的であることから、「GH評価」と「GAP」への取り組みを進めることが効果的と考える。

今後も、法人化に向けて、経営継承等を含んだ中長期的な経営計画を立てながら、後継者兄弟2人の役割分担と明確な意思付け等について支援に努めたい。